

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320235	X-21-B-2-320235			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1～3年次生】経営情報学部経営学科 【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	2年 3年 3年 × × ×
授業科目	担当教員	1	後期				
中国語4aA(新カリ:2年次用)	姜 杰裕						

授業目的

前年度に学習した内容を基礎にして、語彙の範囲をより広げ、場面応用の会話力を高める。基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活で自分の言いたいことを文章に表現できるようにする。

各回の授業内容

第1回	【授】 第10課「网上聊天 2」 疑問視+都・也 順番の表現 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に本文の音読をくる返し、日本語訳をしてみる。ドリルをしておく。予習復習5時間。	第9回	【授】 自分の趣味について話し合う、作文する。 【前・後】事前に今まで習った中国語の単語や文法を復習して、話の内容を考えておく。事後に自分の趣味を流暢に人に紹介出来るように暗記しておく。事前事後学習5時間。
第2回	【授】 「网上聊天」の本文、ドリルの答え合わせ、会話練習 【前・後】事前に本文を日本語訳しておく。ドリルをして会話の時に自分の言いたいことを準備しておく。事後に本文の内容を流暢に復唱出来るようにする。予習復習5時間。	第10回	【授】 『観光』 多～啊、不管～都、離合詞、前置詞の「往」 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に習った文法をしっかりと復習、ドリルをやる。本文を熟読し、日本語訳にしておく。予習復習5時間。
第3回	【授】 第11課 「买东西」 「会・才」、「越來～越」 【前・後】事前に単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に学習した文法を復習、短文を作成する。ドリルをしておく。予習復習4時間。	第11回	【授】 『観光』2 質疑応答、会話練習、映像で中国の観光 【前・後】事前に単語を復習、「観光」用語を予習しておく。事後に聞き取れなかった部分をしっかりと復習する。予習復習5時間。
第4回	【授】 「買い物」本文、ドリルの答え合わせ、模擬買い物一回会話練習 【前・後】事前に本文を熟読し、日本語訳にしておく。事後に習った内容を応用できるように暗誦しておく。予習復習5時間。	第12回	【授】 『送行』 又、以为、本来、不仅～而且 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に文法復習、ドリルをする。本文を音読し、日本語に訳す。予習復習4時間。
第5回	【授】 中国語の検定試験の対策 【前・後】事前に配ったプリントをしっかりとやっておく。問題点を探し出す。事後に必要な単語、文法をまとめる。予習復習5時間。	第13回	【授】 『送行』2 質疑応答、会話練習 【前・後】事前に本文を熟読し、ドリルをやっておく。疑問点をまとめる。事後に習った常用用語を流暢に言えるようにする。予習復習5時間。
第6回	【授】 中国語の検定試験の対策 【前・後】事前に配られたプリントをやっておく。問題点をまとめ、対策を考えておく。事後に全体に復習する。事前事後学習5時間。	第14回	【授】 手紙の書き方一作文 【前・後】事前に手紙の内容を考え、必要な単語を調べ、準備しておく。事後に中国の手紙の形式を覚え、今後応用出来るように書く練習する。学習時間5時間。
第7回	【授】 『爱好』 (为了～)、(帮～)、(只要～) 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後にドリルをして、本文を熟読した上で日本語訳しておく。予習復習4時間	第15回	【授】 総復習、質疑応答 【前・後】今まで習った内容を復習し、疑問点をまとめる。事後に解決された疑問点をしっかりと復習、期末テストに備える。予習復習6時間。
第8回	【授】 『坐火车』 (敢・怕・差点儿)、(就要～了) 【前・後】事前に新出単語を調べ、CDで発音練習する。文法を予習しておく。事後に習った文法を短文作成して、自分の言いたいことを表現する。ドリルをし、本文を熟読、日本語訳にする。予習復習4時間	第16回	【授】 テスト 【前・後】テスト終了後、回答を説明する。

成績評価方法

予習復習をしっかりとし、毎日中国語を音読するのを習慣化する。毎回会話練習を実施する。日常生活の中で意識的に中国語を使ってみる。小テストはその場で答え合わせを行い、問題点を解決する。レポートは添削してから返し、質疑応答を行う。内容により口頭発表を実施する場合もある。成績は期末試験(40%)、小テスト(15%)、宿題・レポート(15%)、授業態度・授業参加(15%)、成果発表(15%)を合わせて総合的に評価する。

教科書・参考書

スリム版 初級から中級へ 「表現する中国語II」 楊凱栄・張麗群 著 2400円+税
受講に当たっての留意事項

日中辞書を持参する。成績は出席率、授業参加、宿題の提出、テスト等により総合的に評価する。
※事情により授業が予定変更する場合もある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

簡単な電話対応や道案内、買い物、料理の注文など日常生活に欠かせない会話が自然にできるように、そしてそれらを文章にまとめられるような作文力を身に付ける。

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320235	X-21-B-2-320235			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	2年 3年 3年 × × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語4aA(旧カリ:3年次用)	姜 杰裕						

授業目的

文法学習と語彙の量を積み重ね、中国留学した経験を生かして、口頭表現も筆記表現もさらなる一段と高め、「聞く、書く、話す」のバランスが取れた中国語を身に付ける。

各回の授業内容

第1回	【授】 中国語で自己紹介する。この一年の目標を決める。初級文法の復習一連動文、補語、及び「離合詞」、「助動詞」などを重点置いて復習する。 【前・後】 事前に中国語での自己紹介文を考え、この一年中国語学習の目標を決めておく。事後には授業の内容をしっかり復習し、第1課の新出単語と文法を予習しておく。復習予習4時間	第9回	【授】 第四課本文の解説・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を熟読し、ドリルをする。事後に次の課の新出単語と文法を予習ておく。復習予習5時間
第2回	【授】 第一課の新しい文法の学習したうえに、応用練習をやり、文法を理解する。 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習し、事後に本文を音読・練習問題を予習しておく。宿題: 自分の「留学時の週末生活」を作文する。復習予習5時間	第10回	【授】 第五課文法ポイント・応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に文法を復習した上に本文を音読、ドリルをやる。復習予習5時間。
第3回	【授】 「留学時の週末生活」について会話練習する。 第二課文法ポイント・応用練習 【前・後】 事前に第二課の新出単語と文法を予習しておく。事後しっかり文法を復習した上に本文音読、ドリルをやっておく。復習予習5時間。	第11回	【授】 第五課の本文学習・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を熟読し、ドリルをする。事後に文法を復習した上に「私の大学生活」について作文する。復習予習5時間。
第4回	【授】 第二課の本文の解説とドリルの答え合わせをする。中国の飲食事情について会話練習する。 【前・後】 事前に第3課の新出単語と文法を予習しておく。事後に文法を復習し、第2課の本文を日本語に訳す。事前に第3課の新出単語と文法を予習しておく。復習予習5時間。	第12回	【授】 第六課: 文法ポイント・文法応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に文法を復習した上に本文を予習、音読、ドリルをやる。復習予習5時間。
第5回	【授】 第三課: 文法学習・文法の応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に習った文法を復習した上に本文を予習、音読して、ドリルをする。復習予習5時間	第13回	【授】 第六課の本文解説・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を予習して、ドリルをやっておく。事後に本文を熟読する。今までの学習した内容を復習始める。復習予習5時間
第6回	【授】 第三課本文解説・音読・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を熟読して、ドリルをやっておく。事後に留学したときの体験を含めて「中国の飲食」について作文しておく。復習予習5時間 発表の準備	第14回	【授】 作文の発表「私の大学生活」・作文について質問応答 【前・後】 事前に書いた作文の音読練習しっかりやっておく。特にイントネーションを留意する。作文の内容についての質問が答えられるように準備する。
第7回	【授】 「中国の飲食」に関する発表会 【前・後】 事前に書いた作文に出てきた感じの声調などをよく調べておいて、スムーズに発表できるように準備する。事後に次の課の単語を予習しておく。復習予習5時間	第15回	【授】 作文について講評 【前・後】 事前に発表した自分の作文の問題点をまとめ、事後に指摘されたところを整理する。学習時間4時間
第8回	【授】 第四課: 文法学習・応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に習った文法を復習した上に、本文を音読し、ドリルをやる。復習予習5時間	第16回	【授】 期末レポート(事前に題目を知らせる)提出 【前・後】 事前にこれまでに習った内容を総復習し、前回の作文の問題点を整理し、期末レポートに生かせる。指定された時間内にレポートを提出する。休み学習計画を立て、毎日中国語に触れるように工夫する。

成績評価方法

中国語のイントネーションに留意しながらより流暢に話せるように授業の時に会話や発表の時間を増やす。提出された課題や宿題は添削してから返す。テストは答え合わせ・解説・質疑応答する。成績は期末試験(40%)、宿題レポート(20%)、授業参加・授業態度(20%)、成果発表(20%)を合わせて総合的評価する。

教科書・参考書

「知っておきたい中国事情」改訂版 著者: 吉田泰謙 相原里美 葛婧 白水社出版

受講に当たっての留意事項

辞書が必要です(スマーフォンも可能)。学習目標を達成するために極力欠席を避け、予習復習をしっかりすることを望む。期末テストだけではなく、普段の学習をも重視する。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

自分の言いたいことが話せる。辞書を使い文書が読める。そして決められたテーマについて作文ができる。つまり「話す・読解・書く」バランスよくとれた中国語を身に付けることを目標にします。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320235	X-21-B-2-320235			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	2年 3年 3年 × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語4aB(旧カリ:3年次用)	姜 杰裕						

授業目的

これまでに学習した内容を基礎にして、語彙の範囲をより広げ、量を増やし、場面応用の会話能力を高める。基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活及び大学生活の中で自分の言いたいことを文章に表現できるように中国語運用能力を高める。

各回の授業内容

第1回	【授】 初級文法の振り返り 【前・後】 今まで習った文法を整理して、問題点を整理しておく。事後に問題点を復習、第一課の新出単語と文法を予習復習5時間。	第9回	【授】 第四課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に習った単語や文法を復習して、本文を日本語に訳す、ドリルをやっておく。事後に本文を熟読する。次回の話の作文の内容を考えておく。自分の趣味を流暢に人に紹介出来るように整理しておく。事前事後学習5時間。
第2回	【授】 第一課 文法解説 応用練習 【前・後】 事前に単語と文法を予習しておく。事後に文法を復讐した上に本文を熟読、ドリルをして置く。予習復習4時間。	第10回	【授】 作文一 自分の趣味について話し合い、作文する。 【前・後】 事前に単語を調べ、習った文法を使い作文してみる。書いたものをイントネーションを留意して声に出して読んでみる。事後に次回の学習の文法と単語を予習しておく。予習復習5時間。
第3回	【授】 第一課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に学習した文法を復習、本文を音読し、日本語に訳す。ドリルをしておく。事後に学習内容を復習してから、第二課の予習をする。復習予習4時間。	第11回	【授】 第五課 文法・本文 【前・後】 事前に単語と文法を予習しておく。本文を音読し、訳してみる。事後に文法を復習、ドリルをやっておく。本文を熟読する。予習復習5時間。
第4回	【授】 第二課 文法解説・本文解説 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。本文を熟読し、日本語訳にしてみる。事後に本文を熟読して、ドリルをやっておく。予習復習5時間。	第12回	【授】 第五課 文法まとめ・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に単語と文法を復習、音読練習する。ドリルをやっておく。事後に次回学習の単語と文法を予習しておく。予習復習4時間。
第5回	【授】 第二課 文法応用練習、ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に習った文法をしっかりとやつ復習しておく。ドリルをやるとき問題点を探し出す。事後に本文を熟読した上に日本語に訳す。第三課の予習をする。予習復習5時間。	第13回	【授】 第六課 文法 応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。文法疑問点をまとめる。事後に習った常用用語を流暢に言えるように繰り返し練習する。本文を予習、ドリルをやる。予習復習5時間。
第6回	【授】 第三課 文法解説・本文解説 【前・後】 事前に配られたプリントをやっておく。問題点をまとめ、対策を考えておく。事後に全体に復習する。事前事後学習5時間。	第14回	【授】 第六課 文法 解説・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を予習して、日本語に訳してみる。ドリルをやる。事後に学習した内容を復讐する。復習学習時間5時間。
第7回	【授】 第三課 文法の応用・ドリル・作文 【前・後】 事前に文法を復讐、本文を音読、日本語に訳す。ドリルをやっておく。予習復習5時間。	第15回	【授】 総復習・質疑応答 【前・後】 今まで習った内容を復習し、疑問点をまとめる。事後に解決された疑問点をしっかりと復習、期末テストに備える。予習復習6時間。
第8回	【授】 第四課 文法解説・応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に習った文法を復讐、本文をたいことを音読、意味を理解、ドリルをしておく。予習復習4時間。	第16回	【授】 期末レポート(事前に題目を知らせる)提出 【前・後】 今まで習った文法や単語を活用してレポートを書く。指定された時間内に提出する。事後に添削された箇所の問題点を整理する。学習時間4時間。

成績評価方法

予習復習をしっかりとする。毎日中国語を音読するのを習慣化する。毎回会話練習を実施する。日常生活の中で意識的に中国語を使ってみる。小テストはその場で答え合わせを行い、問題点を解決する。レポートは添削してから返し、質疑応答を行う。内容により口頭発表を実施する場合もある。成績は期末試験(40%)、小テスト(10%)、宿題・レポート(15%)、成果発表(20%)、授業態度・授業参加(15%)を合わせて総合的評価する。

教科書・参考書

「温故知新！中国語Ⅱ」 虞萍 著 朝日出版社 2200円

受講に当たっての留意事項

日中辞書を持参する。成績は出席率、授業参加、宿題提出、テスト等により総合的に評価する。※事情により授業の予定が変更する場合もある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

大学生活、約束、旅行などに欠かせない会話が自然にできるようにコミュニケーション能力を身に付ける。そして自分の考えを文章にまとめられるような作文能力を付けていく。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習